

適 性 検 査 II

令和 6（2024）年 2 月 3 日（土） 実施

注 意

- 1 指示があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は **10 ページ**まであります。
- 3 問題用紙のあいているところは自由に使ってかまいません。ただし、問題用紙に書いたものは採点されません。
- 4 解答用紙は 1 枚です。解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 5 検査時間は **45 分**です。
- 6 声を出して読んではいけません。
- 7 問題用紙には**受検番号**と**氏名**を、解答用紙には**受検番号**を記入してください。
- 8 問題についての質問は受けません。
- 9 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 10 問題用紙を持ち帰ることはできません。解答用紙と**いっしょ**に提出してください。

受検番号

氏名

東京学芸大学附属国際中等教育学校

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL

問1 現在、地方の過疎^{かそか}化と都市への人口の集中が話題となっています。それに関連する次の問いに答えなさい。 ※ 過疎：ある地域に住む人の数が少なすぎることを指す

〔資料1〕東京都の人口総数および他道府県との移動者数の推移

(単位：人)							
年次	人口総数	転入者数	転出者数	転入 ^{ちょうか} 超過 ^か ※数	期間A		
2014 年	13,286,586	431,670	355,643	76,027			
2015 年	13,398,560	456,635	372,404	84,231		期間B	
2016 年	13,519,511	445,306	370,982	74,324			
2017 年	13,626,195	453,900	380,776	73,124			
2018 年	13,726,692	460,628	380,784	79,844		期間C	
2019 年	13,826,145	466,849	383,867	82,982			
2020 年	13,854,398	432,930	401,805	31,125			
2021 年	13,818,291	420,167	414,734	5,433			
2022 年	13,847,536	439,787	401,764	38,023			

(東京都「東京都住民基本台帳人口移動報告令和4年」をもとにし、問題作成のため一部改変しています。)

※ 超過：上回っていること

(1) 〔資料1〕は東京都の転入者数（他の道府県から転入した人の数）と転出者数（他の道府県へ転出した人の数）および転入超過数（転入者数から転出者数を引いた数）をまとめたものです。この資料から読み取れる情報として正しいものを、次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 期間Aでは転出者数が常に減少し、東京都の人口が増加し続けていた。
- イ 期間Aでは転入者数が常に増加し、東京都の人口が増加し続けていた。
- ウ 期間Bで転出者数が減少し、東京都の人口が減少した。
- エ 期間Bで転入者数が増加し、東京都の人口が減少した。
- オ 期間Cで転入者数が増加し、転出者数が減少し、東京都の人口が再び増加に転じた。
- カ 期間Cで転入者数が減少し、転出者数が増加し、東京都の人口が再び増加に転じた。

(2)〔資料1〕において、転入超過数が期間Bで急激に減少し、期間Cで再び増加しています。このことの背景にあった出来事として最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 外国人観光客の増加
- イ 集中的な大雨による土砂災害や洪水被害
- ウ 東京オリンピックの開催
- エ 新型コロナウイルスの流行と収束
- オ 首都圏を中心とした出生率の減少

(3)〔資料2〕〔資料3〕は、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に住む15～29歳を対象とした「若者の地方暮らしに対する意識調査」の結果の一部です。この調査では、「地方暮らしをしてみたいですか？」という質問項目を設けており、それに「はい」と回答した人の人数は全体の54.2%でした。〔資料2〕〔資料3〕はその人たちを対象とした質問項目の結果をまとめたものです。この質問項目に回答している人たちにとっての理想の地方暮らしの条件にはどのような傾向があると言えるでしょうか。〔資料2〕と〔資料3〕の両方から読み取れることを説明しなさい。

〔資料2〕移住先を決める際の必須条件 ※ 必須：なくてはならないこと

著作権の都合上、非公開とします。

〔資料3〕理想の地方暮らしが叶えられそうな都道府県

著作権の都合上、非公開とします。

(4)〔資料4〕〔資料5〕は過疎地域への移住者に対するアンケート調査の結果の一部です。これらの資料を分析したものとして最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

〔資料4〕地域の魅力や農山漁村地域への関心が移住に影響したと回答した人の移住理由

Q. 現在お住まいの地域に移住したのはなぜですか。(複数選択可) (単位：％)

	30代	40代	50代	60代以上
1 ふるさと（出身地）で暮らしたいと思ったから	20.3	32.4	27.8	27.8
2 家族（配偶者、子供、親）と一緒に暮らしたいから	23.0	29.7	25.0	11.1
3 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいと思ったから	48.6	54.1	47.2	51.9
4 環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）、自給自足の生活を送りたいと思ったから	16.2	18.9	27.8	18.5
5 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから	10.8	8.1	13.9	18.5
6 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたかったから	23.0	21.6	8.3	0.0
7 移住先の自治体の実施する移住・定住の支援施策※に魅力を感じたから ※ 施策：とりくみ	6.8	21.6	5.6	3.7
8 それまでの働き方や暮らし方を変えたかったから	32.4	35.1	38.9	14.8
9 新しい土地で新しい人間関係を築きたかったから	12.2	13.5	5.6	11.1
10 都会の喧騒※を離れて静かなところで暮らしたかったから ※ 喧騒：さわがしさ	21.6	35.1	25.0	27.8

〔資料5〕地域の魅力や農山漁村地域への関心が移住に影響したと回答した人が重視した条件

Q. 移住する際、重視した条件は何ですか。(複数選択可) (単位：％)

	30代	40代	50代	60代以上
1 生活が維持できる仕事（収入）があること	27.0	40.5	30.6	9.3
2 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること	9.5	18.9	16.7	27.8
3 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること	10.8	24.3	19.4	25.9
4 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること	24.3	13.5	8.3	3.7
5 バスや鉄道など生活していくうえで必要な公共交通が確保されていること	9.5	5.4	11.1	7.4
6 都市部とのアクセスが確保されていること	9.5	2.7	11.1	1.9
7 文化イベントや趣味の場などが充実していること	9.5	2.7	2.8	1.9
8 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること	10.8	10.8	5.6	3.7
9 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること	1.4	2.7	0.0	3.7
10 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること	2.7	8.1	0.0	1.9

（総務省「過疎地域への移住者に対するアンケート調査」2017年をもとにし、問題作成のため一部改変しています。）

- ア どの世代でも、収入を得ることなく自給自足の生活を送ろうと考えている人の割合が高いことが分かる。
- イ 30代は、子育てにふさわしい環境かどうかを重視している人の割合が、他の世代よりも高いことが分かる。
- ウ 40代は、自治体などからのサポートが必要不可欠だと感じている人の割合が、他の世代よりも低いことが分かる。
- エ 50代は、その地域や人間に愛着を持ち、今後その地域の伝統や文化の担い手になろうと考えている人の割合が、他の世代よりも高いことが分かる。
- オ 60代以上は、施設が充実していたり、都市部へアクセスしやすかったりするなどの便利さを重視する人の割合が、他の世代よりも高いことが分かる。

問2 沖縄本島の南西およそ 300 kmの場所にある 離島^{りとう}である 宮古島^{みやこじま}は、世界有数の美しいビーチを有するサンゴの島であることから、国内外からの観光客が多く訪れています。宮古島では、伊良部大橋^{いらはし}の開通や下地島空港新旅客ターミナル^{しもじしまくうこうしんりょかく}の整備、クルーズ船専用岸壁^{がんぺき}の設置をうけて、2019 年以前は観光客が激増していました。それに 伴^{ともな}い、宮古島はオーバーツーリズム状態となり、色々な問題が生じました。観光に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部の「オーバーツーリズム」の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 観光客の増加が、地域住民の生活や自然環境、景観に対して悪影響をもたらしたり、観光客の満足度を低下させたりするような 状 況^{じょうきょう}。
- イ 自然環境や伝統文化など、その地域でしか見られない魅力を観光客に伝えることによって、大切さが理解され、保全につながることを目指す仕組み。
- ウ 道路、鉄道、空港などの設備や施設を、その地域の財産とし、観光を通じた地域活性化に役立てる取り組み。
- エ すべての観光客が楽しめるようにつくられた旅行であり、年 齢^{ねんれい}等のちがいに関係なく、気軽に参加できる旅行。

(2) 〔資料6〕は、宮古島観光協会が観光客に対してホームページで注意を 呼 び 掛 け^{よ び か}けているものです。このような注意喚起^{かんき}にはどのような背景がありますか。また、何を目的としているものですか。画像A～画像Dのそれぞれについて、あとのア～エおよびオ～クから最も適切なものを一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号をくりかえし使用してはいけません。

〔資料6〕宮古島観光協会がホームページ上で行っている注意喚起

著作権の都合上、非公開とします。

【背景】

- ア 宮古島は地形・地質的に保水性が^{とぼ}乏しく、限られた地下水をくみ上げて生活水をまかなっているため、旅行者や住民の増加で水^{じゅよう}需要が高まると、断水の危機にもつながる。
- イ 宮古島では神様を拝み、地元の人々でも入ることのできない聖域となる場所が数多く存在している。
- ウ 宮古島で^{こうにゆう}購入できるもののなかで、^{いっぽんてき}一般的な値段よりもきわめて安価な品はにせ物の可能性がある。
- エ 宮古島は、その日の風向きや波の強さなどが日々変わるため、それを理解しないまま、海へ出て行くのはとても危険な^{こうい}行為である。

【目的】

- オ 観光客に海を安全に楽しんでもらうため。
- カ 地域が大切にしているモノ・コトを、観光客と一緒に守っていくため。
- キ 宮古島の人々の暮らしを支える生活^{きばん}基盤を守るため。
- ク 島の経済を活性化させるとともに、観光客と^{はんばい}販売者とのトラブルを防ぐため。

問3 近年は都市から地方へ移住する人も増えていると言われています。〔資料7〕は、2023年2月11日に東京新聞 TOKYO web に掲載された移住に関する記事です。また〔資料8〕は、この記事の中で述べられている「池田暮らしの七か条」です。〔資料7〕〔資料8〕を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔資料7〕ふくいけん いけだ ちょう福井県池田町の移住者に向けた「池田暮らしの七か条」についての記事

著作権の都合上、非公開とします。

〔資料8〕「池田暮らしの七か条」

著作権の都合上、非公開とします。

- (1) 「池田暮らしの七か条」はどのような問題を解決するために作成されたものだと考えられますか。記事を参考にして、次の文章の(a)～(d)の□に入る語句を、それぞれあとのア～サから一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号をくりかえし使用してはいけません。

池田町の地元の人たちは、移住者に^{おも}思い込^こみや(a)□だけで移り住まわれることには不安を感じていた。また、(b)□としての慣習やルールを(c)□が守ってくれないことで、これまで守ってきた地域の良さが失われるのではないかと悩んでいた。そこで、移住者と地元住民^{そうほう}双方の「(d)□」,「こんなはずではなかった」などによる後悔や誤解からのトラブルを防ぎたいという思いからこの七か条は作られた。

ア 悩み イ 要求 ウ ^{ふん い き}雰囲気 エ 疑い オ 知らない・聞いていない
カ 期待通りだった キ 自分には関係ない ク 共同体 ケ 都会
コ 移住者 サ 区長

- (2) 「池田暮らしの七か条」の第2条にある「参加を求められる地域行事」の例として、〔資料7〕ではどのようなことが取り上げられていますか。三つの例をそれぞれ単語で書きなさい。

クラスで〔資料7〕〔資料8〕を読んで、話し合いをしています。以下の会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

先生：〔資料8〕では省略されていますが、実際に池田町から示された第2条の説明では〈「都市にはなかった面倒さ」を「面倒だ」「うっとうしい」と思う方は、池田暮らしは難しいです〉とされています。

アキラ：都市にはなかった面倒さって何だろう。

先生：地方や田舎^{いなか}では、都市にはない習慣や伝統がいろいろありますね。

カオル：でも、移住者はそういうのが体験したくて、移住するんじゃないのかな。

アキラ：いや、そういうのを想像できないままの人もいると思う。

カオル：そういうのを想像できないと、移住してからもいろいろトラブルが起きそうだね。池田町の人はそういうトラブルが起きてほしくないから、七か条を作ったのかな。

先生：みなさんは「池田暮らしの七か条」の第4条について、どのように思いますか。

アキラ：先生、「都会風を吹かせる」ってどういうことですか。

先生：ここでは、少し否定的な意味ですね。「都会から来た人間が、都会の暮らしや経験を田舎よりもよいものととらえて、都会の価値観やスタイルを相手に押し付ける」というような意味だと考えられます。

アキラ：わたしは第4条に賛成です。今までとは違う文化や習慣のある地域に住むのなら、その地域の考え方や文化に合わせて生活するべきだと思います。

カオル：ぼくは反対です。移住してきても、自分の価値観や文化を変える必要はないと思います。相手に押し付けるのはよくないと思うけど、お互^{たが}いの価値観を尊重しあえばいいと思います。

先生：お互いの価値観が合わなかったらどうしたらよいと思いますか。たとえば地域の景観を保つための作業としての除草や木の伐採^{はっさい}は、やりたくない人や必要ないと思う人はやらなくてもいいのでしょうか。お祭りも参加したい人だけが参加するということになりますね。

アキラ：そうなっちゃうと、町や村での交流はなくなっちゃうんじゃないのかな。せっかく移住してきた人がいても、そういう所には結局人が来なくなっちゃうんじゃない。お祭りみたいな伝統行事も、参加する人がいなくなると、廃止^{はいし}されちゃうよね。ある地方の都市では伝統的なお祭りが担い手不足で、今年は地元の高校生や県外の大学生にも参加してもらったという新聞記事があったよ。

カオル：いや、最初から第4条みたいに言われるほうが、人が来ないよ。お祭りのような伝統行事は、そもそもこの町の人口や年齢層^{ねんれいそう}を考えると、もともと続けるのが難しいよ。だから、まずは移住してくれる人を増やさなくちゃならないんだよ。

先生：自分たちとは異なる価値観や文化の人を受け入れて、一緒に生きていくにはどうしたらいいのでしょうかね。

- (3) 「池田暮らしの七か条」の第4条にある「都会暮らしを地域に押し付ける」例、「都会風を吹かせる」例としてはどのような行動・言動が考えられますか。次のア～オから当てはまるものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「都会ではどこにでもあるような店がここにはないんですか」と地域を馬鹿にしたような発言をする。
- イ 遠くのコンビニまで車で出かける。
- ウ 「夜道に街灯がないのは危険です」と言って、町や村に街灯を増やすよう提案する。
- エ 「土で汚れるのが嫌です。都会ではそういう作業は専門業者がやってくれていましたよ」と言って、地域で必要な土木作業や活動に参加しない。
- オ 自分の好きな漫画の登場人物をまねた服を着る。

- (4) あなたは「池田暮らしの七か条」の第4条について、アキラさんとカオルさんの意見のどちらに賛成しますか。〔資料7〕〔資料8〕の一つ以上にふれて、400字以内でその理由を述べなさい。

【解答するときの注意】

アキラさんとカオルさんのどちらの意見に賛成するかは、解答用紙に「○」を付けてください。本文の中に「私は○○さんに賛成します」と書かなくて構いません。なお、用いた資料は次のように示しなさい。

例1：資7によると、～ 例2：資7から考えられることは、～

受検番号

令和 6 （2024） 年度 第 1 学年 4 月入学選抜検査 適性検査Ⅱ （解答用紙）

問 1

(1)

(2)

(3)

(4)

問 2

(1)

(2) 画像 A 背景 目的 画像 B 背景 目的

画像 C 背景 目的 画像 D 背景 目的

問 3

(1) (a) (b) (c) (d)

(2)

(3)

(4) 〈解答欄^{らん}の使い方〉

- ・横書きで書く。
- ・書き出しや、段落をかえたときは、最初の1マスをあける。
- ・句読点や、かつこも1字と数える。例：
- ・句読点が行の最後にきたときは、マスの外に書きなさい。
- ・アルファベットと数値は1マスに2文字入れなさい。

例：

	
---	---

(	)
---	---

「	」
---	---

例：

AI

10

10	.5
----	----

1	00
---	----

10	00
----	----

アキラさんに賛成	
----------	--

カオルさんに賛成	
----------	--

[illegible]